

6月4日(土)ー6月12日(日)

第35回

開成町あじさいまつり

3年ぶりの開催となる開成町あじさいまつり(以降「あじさいまつり」)。開催の趣旨や、主役となるあじさいの花について、今一度、目を向けてみましょう。

新型コロナウイルス感染症(以降「コロナウイルス」)の影響により2年連続で中止となったあじさいまつりですが、社会全体の動きに合わせ、ようやく再開することが決まりました。

第35回となる今回は、「地域の活性化」「感染症対策の徹底」「自然環境への配慮」(P3参照)をキーワードに、持続可能性を意識した、発展的なイベントにすることとしています。あじさいの花を通じて自然に親しんでもらい、地域を盛り上げるという、あじさいまつりの原点に改めて立ち戻ります。

また、イベントの主役は何といっても、あじさいの花。

田園の中で映えるあじさいは、他にはない特有の風景ですが、育てるには年間を通して管理に手間がかかります。そのため、町民を始めとする多くの方との協働によって維持されているのが、開成町あじさいの里の特徴でもあります。

今回の特集では、あじさいの花そのものに焦点を当て、まつり期間中に観賞できるスポットや、あじさいの育成に関わる方法などを紹介します。

あじさいまつり実行委員会会長・開成町長 府川 裕一

町民・来場者の皆様の安全・安心を最優先にしながらも、地域のにぎわいを取り戻すため、3年ぶりの開催を決定しました。広々とした田園地帯を、あじさいを眺めながら散歩するスタイルは、ウィズコロナ時代にも適したイベントだと考えています。感染症対策を徹底しながら、地域のつながりや自然環境の大切さを再確認し、皆様の心が晴れやかになるようなイベント運営をしていきます。皆様のご来場をお待ちしています。



3 自然環境への配慮

今年度から、町のすべてのイベントは次の3つの方針に基づいて開催し、関係者・来場者が一体となって脱炭素社会の実現に向けて動き出します。



地球にやさしいイベント

再生可能エネルギーの積極活用等により、環境への負荷を軽減します。

人と自然が共生するイベント

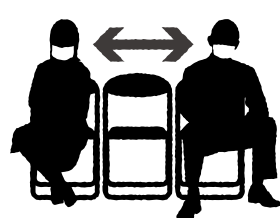
イベントの開催によって発生する生態系等への負荷を、最小限に抑えます。

意識啓発につながるイベント

一人ひとりの行動が自然環境に与える影響に気づききっかけをつくります。

2 感染症対策の徹底

町民・来場者の安全・安心を守り、このイベントがコロナウイルス感染拡大の機会となることのないよう、徹底した感染症対策を図ります。



消毒とマスクの着用

マスク着用を徹底し、各会場での手指消毒により感染リスクを低減します。

3密機会の回避

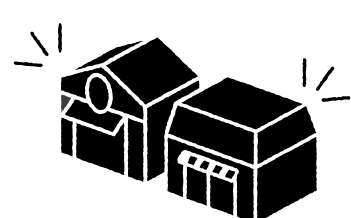
来場者の間隔維持、ゆとりをもった会場配置による3密回避に努めます。

出店者の感染症対策の義務化

消毒液・飛沫防止シートなどの対策の徹底を出店の条件とします。

1 地域の活性化

町の大切な資源であるあじさいの花、水と緑が美しい田園風景を最大限に生かし、コロナ禍によって失われた地域のにぎわいを取り戻します。



北部地域の活性化

地域の魅力を知ってもらい、農産物の消費拡大等、経済の活性化につなげます。

町内の商工振興

あじさいまつりの会場だけでなく、町内全体での消費拡大を図ります。

関係市町との連携

近隣自治体との広域連携、ゆかりのある自治体との都市間交流を行います。